

平成29年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名： 幼児キャンプ 2017 ～MYK36のセンターは、きみだ！～

期間： 平成29年8月18日(金)～8月20日(日) (2泊3日) 夏キャンプ
平成30年1月19日(金)～1月21日(日) (2泊3日) 冬キャンプ

対象及び参加人数：4, 5 歳児の幼児とその家族 夏：20家族、冬：20家族

目的：幼児の自立、基本的生活習慣の育成、社会性の育成

保護者の子育て支援

保育者の資質向上

学生ボランティアの資質向上

事業概要：本事業「幼児キャンプ」は、全国の4, 5歳児の幼児とその保護者を対象に夏・冬の年2回実施した。夏には、森遊びや野外炊事、キャンドルセレモニーや源流探検を行い、冬には、雪像づくりや餅つき、雪灯籠造りや深雪体験等を行った。

成果

- ①苦しいことや難しいことにも挑戦しようとする姿が多くみられた。
- ②グループ活動では、幼児だけで話し合いをすることができた。
- ③保護者が子どもを客観的に眺めることで、わが子の意外な一面を再発見する機会となった。
- ④保護者と妙高市園指導主事、施設担当職員とで行った、情報交換「子育てカフェ」では、子育てに関する悩みや思いを共有できた。
- ④妙高市保育者が企画や運営に携わったことで、保育者自身の指導・支援の資質が向上した。
- ⑤ボランティアの学生が保育者の補助を行ったことで、幼児とのかかわり方等について実体験を通して学ぶことができた。



課題

- ①荒天時や事故発生時などの対応について再検討し、万が一に対する備えを万全にする必要がある。
- ②ボランティアの学生との打合せが当日のみだったため、事前のスタッフトレーニングをより充実させる必要がある。

